

# 新機種紹介 広報部会

## ▶ <01> ブルドーザおよびスクレーバ

03-<01>-05	新キャタピラー三菱 ブルドーザ D3G (LGP) ほか	'03.09 発売 モデルチェンジ
------------	---------------------------------	----------------------

環境適応性、操作性、安全性、メンテナンス性などの向上を図ってモデルチェンジしたD3G, D4G (受注生産), D5Gである。国土交通省の排出ガス対策(2次規制)基準値をクリアするエンジンを搭載し、2ポンプ・2モータの電子制御式HST駆動で走行無段変速を実現している。また、D3G, D5Gは、国土交通省の低騒音型建設機械にも適合する。前後進切替え、ステアリング、スピード調節はジョイスティック1本で同時操作が可能で、スティック頭部には増速・減速ボタンを備えて任意のスピード設定ができる。ブレードカッピングエッジの掘削角度は、VPAT (Variable Pitch, Power Angle Tilt) 機構により、土質や作業条件に合わせて50~55度の範囲で調整ができる。D3G, D4Gには4本支柱を乗降口よりも後方に配置したROPSキャノピを、D5Gにはエアコ

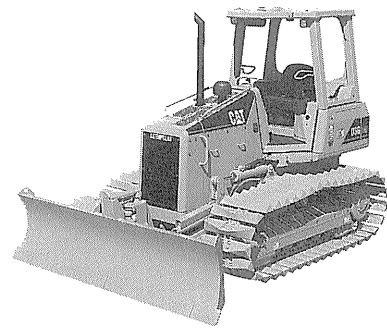


写真-1 CAT D3Gブルドーザ(湿地仕様)

ン付き密閉加圧式ROPS/FOPSキャブを標準装備して安全性を確保している。油圧システム各所の圧力を検出して故障診断ができるハイドロリック検圧集中ポートの装備や、エンジンオイルおよびエンジンオイルフィルタの交換間隔を500hに延長してメンテナンス性を向上している。

表-1 D3G (LGP) ほかの主な仕様

	D3G	
	(LGP) 湿地車	(XL) 乾地車
運転質量 (t)	7.75	7.35
定格出力 (kW(PS)/min <sup>-1</sup> )	55(75)/2,200	55(75)/2,200
ブレード幅×同高さ (m)	3.105×0.73	2.46×0.935
ブレードチルト量 (m)	0.455	0.376
最高走行速度 F/R (km/h)	0~9.0/0~9.7	0~9.0/0~9.7
接地圧 (kPa)	29.0	43.1
最低地上高 (m)	0.360	0.345
全長×全幅×全高 (m)	4.02×3.105 ×2.795	4.02×2.46 ×2.765
価格 (百万円)	10.00	—
	D4G	
	(LGP) 湿地車	(XL) 乾地車
運転質量 (t)	8.45	7.90
定格出力 (kW(PS)/min <sup>-1</sup> )	60(81)/2,200	60(81)/2,200
ブレード幅×同高さ (m)	3.145×0.92	2.67×1.03
ブレードチルト量 (m)	0.455	0.385
最高走行速度 F/R (km/h)	0~9.0/0~9.7	0~9.0/0~9.7
接地圧 (kPa)	29.6	38.1
最低地上高 (m)	0.360	0.345
全長×全幅×全高 (m)	4.035×3.145 ×2.795	4.035×2.67 ×2.765
価格 (百万円)	11.00	—
	D5G	
	(LGP) 湿地車	(XL) 乾地車
運転質量 (t)	10.05	9.35
定格出力 (kW(PS)/min <sup>-1</sup> )	67(91)/2,200	67(91)/2,200
ブレード幅×同高さ (m)	3.255×1.03	2.69×1.10
ブレードチルト量 (m)	0.470	0.390
最高走行速度 F/R (km/h)	0~9.0/0~9.7	0~9.0/0~9.7
接地圧 (kPa)	27.6	38.8
最低地上高 (m)	0.440	0.445
全長×全幅×全高 (m)	4.255×3.255 ×2.8	4.34×2.69 ×2.775
価格 (百万円)	13.64	—

(注) D3G及びD4Gの全高はキャノピ上端まで、D5Gの全高はキャブ上端まで。

## ▶ <02> 掘削機械

03-<02>-18	コマツ 油圧ショベル PC600 <sub>-7</sub> /PC650 <sub>-7</sub>	'03.09 発売 モデルチェンジ
------------	--	----------------------

作業効率、居住性(静粛、防塵)、安全性、メンテナンス性、環境適合性などの向上と稼働情報管理機能(KOMTRAX)や機械健康診断システム(EMMS)を備えてモデルチェンジした2機種である。日・米・欧の排出ガス対策(2次規制)に適合するエンジンを搭載しており、ワンタッチで一時的にパワーアップする機能、作業状況に応じて選択できる作業量優先の「アクティブモード」と燃費優先の「エコモード」、必要に応じて切換えられるブーム押付け力の2段切換え(高圧・低圧)、ブームリフト力を8%アップできるヘビーリフトモードなどで作業効率を高めている。旋回装置には

表-2 PC600<sub>-7</sub>/PC650<sub>-7</sub>の主な仕様

	PC600(LC) <sub>-7</sub> バックホウ 標準仕様	PC650(LC) <sub>-7</sub> バックホウ 碎石仕様
標準バケット容量 (m <sup>3</sup> )	2.7	2.8
機械質量 (t)	56.6[57.6]	58.2[59.3]
定格出力 (kW(PS)/min <sup>-1</sup> )	287(390) /1,800	287(390) /1,800
最大掘削深さ×同半径 (m)	8.49×13.02	8.165×12.615
最大掘削高さ (m)	11.88	11.475
最大掘削力(バケット) (ワンタッチパワーアップ時) (kN)	294(317)	294(317)
作業機最小旋回半径 /後端旋回半径 (m)	5.37/3.8	5.09/3.8
走行速度 高速/低速 (km/h)	4.9/3.0	4.9/3.0
登坂能力 (度)	35	35
接地圧 (kPa)	100[95]	103[98]
全長×全幅(縮小時)×全高 (m)	12.81×3.9 (3.19)×4.3	12.44×3.9 (3.19)×4.28
価格 (百万円)	45.5	48.0

(注) [ ] 書きでロングクローラ仕様を示す。

新機種紹介



写真-2 コマツ「GALEO」PC 650-7 油圧ショベル

2スイングモータを採用し、走行装置はHi, Loの自動変速として傾斜地などにおける作業性を確実にしている。ダンパマウントのプレッシャライズドキャブ(PC 650-7はOPG トップガード付き)にはマルチカラーモニタを搭載して、パワー切替えや作業モードの切替え、EMMSの情報チェックなどを容易にしている。エンジンオイルおよびフィルタの交換500h、作動油エレメント交換1,000h、作動油交換5,000hと延長してメンテナンス性を向上しているPC 650-7は碎石仕様である。

03-(02)-19	ヤンマー ミニショベル(超小旋回形) B3 <sub>s</sub> ほか	'03.08 発売 モデルチェンジ
------------	---	----------------------

4本のブーム・アーム構造で、機械式のバケット干渉防止機構を採用しているミニショベルについて、環境への適合性、操作性などの向上を図ってモデルチェンジしたものである。日・米・欧の排出

表-3 B3<sub>s</sub>ほかの主な仕様

	B3 <sub>s</sub>		B6 <sub>s</sub>	
	キャノピ	キャビン	キャノピ	キャビン
標準バケット容量 (m <sup>3</sup> )	0.08	0.08	0.20	0.20
機械質量 (t)	2.995(3.055)	3.085(3.145)	5.10(5.17)	5.20(5.27)
定格出力 (kW(PS)/min <sup>-1</sup> )	18.4(25)/2,500	18.4(25)/2,500	27.9(38)/2,300	27.9(38)/2,300
最大掘削深さ×同半径 (m)	3.0×4.66	3.0×4.66	4.15×5.9	4.15×5.9
最大掘削高さ (m)	5.25	5.14	6.46	6.37
バケットオフセット量 左/右 (m)	0.885/0.51	0.885/0.51	0.94/0.575	0.94/0.575
最大掘削力 (バケット) (kN)	27.5	27.5	36.3	36.3
作業機最小旋回半径/後端旋回半径 (m)	0.85/0.775	1.02/0.775	1.025/0.995	1.20/0.995
走行速度 高速/低速 (km/h)	4.5(4.4)/2.6(2.4)	4.5(4.4)/2.6(2.4)	4.4(4.3)/2.4(2.2)	4.4(4.3)/2.4(2.2)
接地圧 (kPa)	26.5(27.5)	27.3(28.3)	28.4(28.4)	29.4(29.4)
全長×全幅×全高 (m)	4.15×1.55×2.43	4.15×1.55×2.5	5.28×1.99×2.53	5.3×1.99×2.63
価格 (百万円)	8.0	—	11.0	—

(注) ゴムクローラ(鉄クローラ)仕様の書式で示す。



写真-3 ヤンマー「B6Σ」B6<sub>s</sub>ミニショベル(超小旋回形)

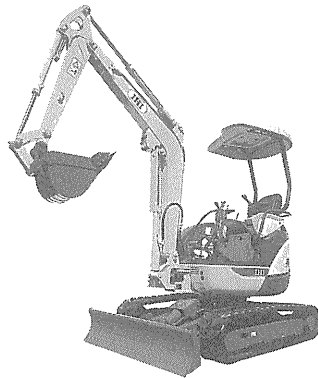
ガス対策(2次規制)基準値をクリアするエンジンを搭載しており、国土交通省の超低騒音型建設機械にも適合する。ラジエータ冷却風の排出グリルは、周囲への影響を考慮して斜め上方向へ吐出すようになっており、エンジン排気マフラもキャノピ(キャブ)コーナに配置して上向きに排出するようになっている。油圧システムにはアーム優先合流回路、ブーム優先合流回路を採用しており、ブーム、アーム、旋回などの複合操作をスピーディーに、また、スムーズに行える。作業機の油圧ホースは内蔵形として損傷を防止しており、トラックフレーム上面は山形として泥はけをよくしてメンテナンス性を向上している。国土交通省の超低騒音型に適合して環境に配慮している。

03-(02)-20	石川島建機 ミニショベル(後方超小旋回形) 30 VX	'03.09 発売 モデルチェンジ
------------	-----------------------------------	----------------------

耐久性、操作性、メンテナンス性、環境への適合性などを向上してモデルチェンジしたものである。エンジンは国土交通省の排出ガス対策(2次規制)基準値をクリアするものを搭載しており、さらに、リサイクル鉛を使用したバッテリーの採用や樹脂材料に材質識別マークの貼付などを実施して、リサイクル率は98%を達成している。

表-4 30 VXの主な仕様

標準バケット容量 (m <sup>3</sup> )	0.09
機械質量 (t)	2.98
定格出力 (kW(PS)/min <sup>-1</sup> )	17.8(24.2)/2,200
最大掘削深さ×同半径 (m)	2.9×4.8
最大掘削高さ (m)	4.84
バケットオフセット量 左/右 (m)	0.75/0.51
最大掘削力(バケット) (kN)	26.5
作業機最小旋回半径/後端旋回半径 (m)	1.7/0.775
走行速度 高速/低速 (km/h)	4.8/2.5
登坂能力 (度)	30
接地圧 (kPa)	32
全長×全幅×全高 (m)	4.37×1.55×2.47
価格 (百万円)	6.35



写真—4 石川島建機「e建機」30 VX ミニショベル  
(後方超小旋回形)

る。国土交通省の超低騒音型建設機械にも適合して環境に配慮している。ラジエータと作動油クーラはアルミ製を、燃料タンクは樹脂製を採用して耐久性を向上し、ゴムクローラはスチールコードの切断に対して1,500hを保証している。燃料タンク容量を40Lにアップ、旋回駐車ブレーキを装備、泥はけを考慮した山形トラックフレームの採用、ピンジョイントに焼結合金ブッシュを採用、絵記号と日本語で必要な情報を表示するほか故障履歴や部品交換時期の記録機能をもった新型モニタ（OKナビ）を装備などで、安全性、メンテナンス性などの向上に配慮している。

▶ <03> 積込機械

03-<03>-13	川崎重工業 ホイールローダ	80 ZV	'03.08 発売 モデルチェンジ
------------	------------------	-------	----------------------

積込作業性、環境対応性、居住性、メンテナンス性などの向上を図ってモデルチェンジしたものである。エンジンは、従来機80ZA比で21%の出力アップを図り、国土交通省の排出ガス対策（2次規制）基準値をクリアしたものを搭載している。ラジエータの冷却ファンは径の大きなものを採用し、油圧モータ駆動で回転制御して騒音低減を実現しており、国土交通省の低騒音型建設機械にも適合する。コンピュータ制御の自動変速トランスミッションを採用しており、状況に合わせて自動的に最適速度段（2・3・4速）を選択す

表—5 80 ZV の主な仕様

標準バケット容量	(m <sup>3</sup> )	3.4
運転質量	(t)	16.65
定格出力	(kW(PS)/min <sup>-1</sup> )	160(218)/2,200
ダンピングクリアランス×同リーチ	(m)	2.805×1.29
最大掘起力（バケットシリンダ）	(kN)	160.6
最高走行速度 F <sub>1</sub> /R <sub>1</sub>	(km/h)	33.5/33.9
最小回転半径（最外輪中心）	(m)	5.45
登坂能力	(度)	30
軸距×輪距（前後輪とも）	(m)	3.2×2.1
最低地上高	(m)	0.4
タイヤサイズ	(—)	20.5-25-16 PR(L3)
全長×全幅×全高	(m)	8.175×2.8×3.375
価 格	(百万円)	22.8



写真—5 川崎重工業「AUTHENT」80 ZV ホイールローダ

ることができる。また、ブームレバーに速度切換スイッチを設けて、作業時など必要な時の2速から1速への変速を容易にしている。360度視界を向上したワイドなROPS/FOPSキャブはビスカスマウントとし、テレスコピックチルトステアリングハンドル、調整式リクライニングシート、フルオートエアコンなどを標準装備している。ブレーキには密閉湿式ディスクを採用し、プロペラシャフトの給脂間隔を2,000hに延長してメンテナンス性を向上している。

03-<03>-14	日立建機 ホイールローダ LX 15 SL <sub>7</sub> ほか	'03.09 発売 モデルチェンジ
------------	--	----------------------

車両への乗降性と高さ制限のある現場での走行通過性などを重視して設計された、HST・4輪駆動の小形ホイールローダについてのモデルチェンジである。国土交通省の排出ガス対策（2次規制）基準値をクリアするエンジンを搭載し、2作業モードHSTシステムを採用して効率的な作業性を実現した。すなわち、除雪作業などにおいてはフルオートモード（HST自動変速機構）を、重作業・積込作業においてはハーフオートモード（HST中速自動変速機構）を選択できるようになっている。リヤオーバハングを小さくして小回り性を向上しており、密閉湿式ディスクのブレーキ&インチャングの2ペダル方式や2スプール1作業レバーの採用、視界良好な2柱式キャノピの搭載、引きずり防止機構とエンジン停止で自動的に作用するネガティブ式駐車ブレーキの採用などで、安全で容易な運転

表—6 LX 15 SL<sub>7</sub> ほかの主な仕様

		LX 15 SL <sub>7</sub>	LX 20 SL <sub>7</sub>
標準バケット容量	(m <sup>3</sup> )	0.36	0.46
運転質量	(t)	1.975	2.615
定格出力	(kW(PS)/min <sup>-1</sup> )	16.2(21)/2,500	21.3(29)/2,400
ダンピングクリアランス ×同リーチ	(m)	1.8×0.62	2.105×0.865
最大掘起力（バケットシリンダ）	(kN)	17.2	25.0
最高走行速度 F <sub>2</sub> /R <sub>2</sub>	(km/h)	15/15	15/15
最小回転半径（最外輪中心）	(m)	2.57	3.04
登坂能力	(度)	30	30
軸距×輪距（前後輪とも）	(m)	1.5×1.115	1.78×1.18
最低地上高	(m)	0.215	0.255
タイヤサイズ	(—)	10-16.5-4 PR (L2)	12.5/70-16-6 PR (L2)
全長×全幅×全高	(m)	3.88×1.405 ×1.985	4.435×1.570 ×2.085
価 格	(百万円)	4.08	5.10

## 新機種紹介

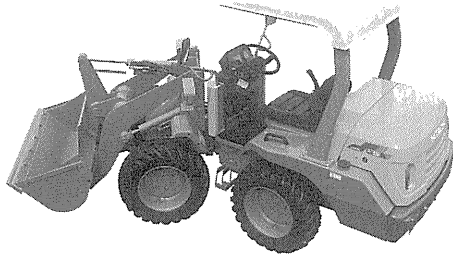


写真-6 日立建機「ステップインローダ」  
LX 15 SL, ホイールローダ

を実現している。ラジエータは目詰まりし難いプレートフィン構造とし、湿式内蔵ディスクブレーキや含油ブッシュ（HN ブッシュ）の採用などでメンテナンス性を向上している。国土交通省の超低騒音型基準値もクリアして環境に配慮している。

03-(03)-15	コベルコ建機 スクラップローダ（ホイール式） HK 350 W	'03.05 発売 新機種
------------	---------------------------------------	------------------

解体作業現場などで発生する各種スクラップのハンドリング機として、油圧ショベルとラフテレーンクレーンの技術をもって開発されたものである。二つ折れのロングブームにはグラップルバケット、リフティングマグネット、小形フォークグラップルなどが装着できるようになっており、スクラップの重量検出が可能な計量機能も標準装備している。走行装置においては、上部旋回体が180度旋回時の走行操作を容易にするための逆ステアリング補正装置を標準装備している。リンク昇降式のキャブ（運転席）の採用によりハンドリング対象物の確認が容易であり、積込作業も確実にできる。荷重計やブーム、アーム、昇降式キャブの落下防止装置を標準装備し、不整地での安定設置に配慮してアウトリガ独立操作スイッチを設けて安全性を確保している。エンジンは国土交通省の排出ガス対策（2次規制）基準値をクリアしており、環境に配慮している。また、大型特殊自動車の保安基準に適合する車検仕様をオプションとして設

表-7 HK 350 W の主な仕様

グラップルバケット開口幅/質量	(m/t)	2.4/1.5
リフティングマグネット径/質量	(m/t)	φ1.3/2.39
フォークグラップル開口幅/質量	(m/t)	1.07/0.18
運転質量（4本爪グラップル装着時）	(t)	32.765
定格出力	(kW(PS)/min <sup>-1</sup> )	125(170)/2,100
最大作業半径/最大作業高さ（アームトップ）	(m)	15.01/15.92
アウトリガ張り出し幅	(m)	4.68
走行速度	(km/h)	18
登坂能力	(度)	11.9
タイヤサイズ	(—)	12.00-24-16 PR
全長×全幅×全高（走行姿勢時）	(m)	12.64×3.195×3.75
価格（グラップルバケット装着時）	(百万円)	45

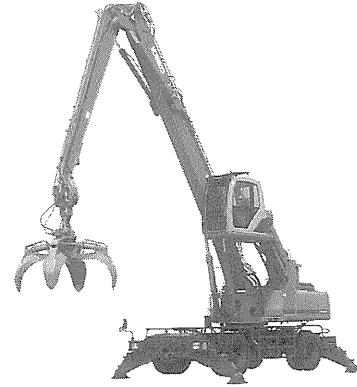


写真-7 コベルコ建機 HK 350 W スクラップローダ

定している。

### ▶ <05> クレーン、エレベータ、高所作業車およびウインチ

03-(05)-07	コベルコ建機 クローラクレーン（伸縮ブーム形） TK 750	'03.04 発売 新機種
------------	--------------------------------------	------------------

作業スペースや輸送性を考慮し、基礎工事におけるバケットなど各種アタッチメントにも対応する全油圧式のクローラクレーンである。ブームは箱型4段式で、パイプロ、オーガ、1.2m<sup>3</sup> クラムシェルバケット、φ1.5m ハンマグラブの装着を可能とする。エンジンは国土交通省の排出ガス対策（2次規制）に適合するものを搭載しており、巻上げウインチには強制油冷式の湿式ディスクブレーキ内蔵形を採用している。安全装置として、ブーム角度（上限/下限）、ブームトップ高さおよび作業半径を設定してブームの作動範囲を制限する作業範囲制限装置、過負荷防止装置（自動停止）、フック過巻自動停止装置、エンジン停止時ブレーキ作動装置、フリフォール誤作動防止の3重操作機構、クローラ張出確認（音声）スイッチなどを採用しているほか、乗降遮断式レバーロック、走行レバーロックなどを備えている。また、マルチディスプレイでは、機械状態の異常と自己診断結果が表示される。クローラ幅伸縮機構のほか、カウンタウエイト自力脱着装置（オプション）を装備しており、運搬に便利にしている。国土交通省の超低騒音型建設機械にも指定され

表-8 TK 750 の主な仕様

吊上げ能力	(t×m)	75×3.0
最大地上揚程×同作業半径	(m)	30.4×27.8
運転質量	(t)	64.8
定格出力	(kW(PS)/min <sup>-1</sup> )	235(320)/2,000
ブーム長さ	(m)	9.99~30.1
後端旋回半径	(m)	3.95
走行速度 高速/低速	(km/h)	1.9/1.2
登坂能力	(度)	21.8
接地圧	(kPa)	79
全長×全幅（縮小時～拡張時）×全高	(m)	12.525×(3.2~4.83)×3.4
価格	(百万円)	83.4

新機種紹介

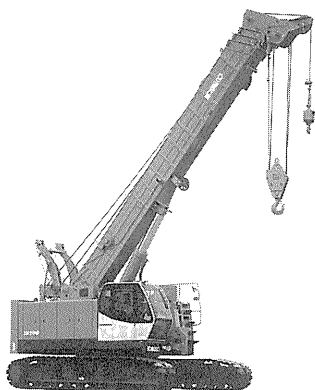


写真-8 コベルコ建機 TK 750 クローラークレーン

ており環境に配慮している。

03-〈05〉-08	アイチコーポレーション 高所作業車 RM 03 B ほか	'03.09 発売 新機種
------------	------------------------------------	------------------

設備・内装工事やメンテナンス工事に使用される垂直昇降型のホワイトゴムクローラ式 RM 03 B, RM 04 B とホワイトゴム、ホイール式 SV 06 B, SV 08 B である。バッテリーを動力源とし、昇降装置は、RM 03 B は直伸 3 段、RM 04 B は直伸 4 段のマスト方式を、SV 06 B は一端固定の 3 段、SV 08 B は一端固定の 4 段のシザース方式を採用している。SV 06 B, SV 08 B の作業床はスライド 1 m の拡張式で、作業対象に身を乗り出さなくても安全に作業ができる。操作方式にはチョップコントロール（比例制御式操作装置）を採用して、狭小現場での細かい操作を確実にした。また、走行と操舵ス

表-9 RM 03 B ほかの主な仕様

	RM 03 B	RM 04 B	SV 06 B	SV 08 B
最大積載荷重 ×最大地上高 (kg×m)	200×2.7	200×3.8	350×6.1	250×7.9
スライド (1 m) 拡張部 積載荷重 (kg)	—	—	120	120
機械質量 (t)	0.56	0.63	1.72	2.25
作業床内側寸法 (幅×奥行 (拡張時) ×高) (m)	0.895×0.66 ×1.0	0.895×0.66 ×1.0	0.72×2.185 (3.185) ×1.0	0.72×2.185 (3.185) ×1.0
走行速度 低速/高速 (km/h)	0~0.8 /0~2.0	0~0.8 /0~2.0	0~1.0 /0~3.8	0~1.0 /0~3.0
登坂能力 (80 kg 積載時) (度)	20 以上	20 以上	14 以上	13 以上
最小回転半径 (最外輪中心) (m)	—	—	2.27	2.27
接地圧 (kPa)	29	31	940	990
入力電圧(V)	単相 AC 100	単相 AC 100	単相 AC 100	単相 AC 100
バッテリー電圧 /容量 (5 時間率) (V/Ah)	DC 24 /100	DC 24 /100	DC 24 /200	DC 24 /200
全長×全幅×全高 (m)	1.25×0.77 ×1.67	1.25×0.77 ×1.73	2.39×0.81 ×1.99	2.39×0.81 ×2.12
価 格 (百万円)	2.1	2.2	3.95	4.5

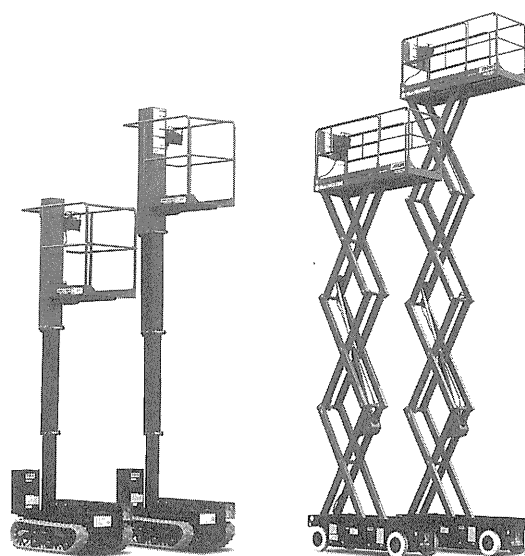


写真-9 アイチコーポレーション「スカイタワー」RM 03 B/RM 04 B (a) と SV 06 B/SV 08 B (b) 高所作業車

イッチを独立して配置し、誤操作による事故を防止した。RM 03 B, RM 04 B の作業床はチルドアップ式（特許出願中）としており、マストを上昇させることなく車体回りのメンテナンスを可能にした。全車のバッテリーは引出し方式で、補水や交換作業が容易に行える。走行・昇降警報装置、転倒防止装置（走行規制、上昇規制）、過積載防止装置、作動停止スイッチなど各種安全装置を備えている。

▶ 〈09〉 骨材生産機械

03-〈09〉-05	コマツ 破砕機 (自走式) BR 380 JG <sub>1</sub>	'03.08 発売 モデルチェンジ
------------	--	----------------------

砕石生産現場や解体工事現場で使用されるクローラ式の破砕機について、大容量の全自動油圧式ジョークラッシャを搭載してモデルチェンジしたものである。ジョークラッシャの出口すきま量の設定・変更機構として、マルチカラーモニタに、3 モードからの選択による方法ですきま量をインプットするだけで調整ができる全自動調整システムを採用しており、また、金属などの異物をかみ込んだ場合、従来のトグルプレート変形による保護機構に替えて、衝撃吸収用のシリンダを備えて、運転およびメンテナンスを簡単にしている。操作スイッチ類はパネルに集中し、ワンタッチスタート機構によりボタンを押すだけで、クラッシャ、フィーダ、コンベヤ、磁選機を起動・停止できる。排出高さを高くとった排出コンベヤには異物除去のための逆転機能があり、さらに排出量を記録できるベルトスケールをオプションで設定できる。マルチカラーモニタでは、機械の状態で異常発生時の状況を容易に把握することができる。日・米・欧の排出ガス対策（2次規制）基準値をクリアするエンジンを搭載しており、作業環境に対する騒音低減（作業時周囲 7 m : 76 dB(A)）にも配慮している。

## 新機種紹介

表-10 BR 380 JG<sub>1</sub>の主な仕様

処理能力 自然石/コンクリートガラ	(t/h)	170~240/125~175
運転質量	(t)	33
定格出力	(kW(PS)/rpm)	134(182)/2,050
最大供給塊寸法 自然石/コンクリートガラ	(m)	0.425×0.425×0.425 /1.0×0.9×0.475
供給口寸法	(m)	1.065×0.55
出口隙間調整範囲(開き側)	(mm)	50~150
ホッパ高さ	(m)	3.2
ホッパ寸法	(m)	3.54×2.5
排出ベルトコンベヤ幅/同排出高さ	(m)	1.05/2.8
走行速度	(km/h)	3.0
登坂能力	(度)	25
最低地上高 走行時/作業時	(m)	0.3/0.1, 0.2 (2段階セット)
クローラシュー幅×同接地長	(m)	0.5×3.275
全長×全幅(輸送時)×全高	(m)	12.5×2.95(2.815)×3.2
価格	(百万円)	47

- (注) (1) 処理能力はクラッシャー破砕量+グリズリ抜け量を示す。  
 (2) 処理能力は投入物の種類, 性状, 作業条件により異なる。



写真-10 コマツ「GALEO」BR 380 JG<sub>1</sub> 破砕機(自走式)

### ▶ <14> 維持修繕・災害対策用機械および除雪機械

03-<14>-03	川崎重工業 除雪ドーザ	65 DV	'03.08 発売 モデルチェンジ
------------	----------------	-------	----------------------

効率的な除雪作業を進めるために、発進加速性や移動速度のアップが図られた除雪ドーザについてのモデルチェンジである。国土交通省の排出ガス対策(2次規制)基準値をクリアするエンジンを搭載し、ロックアップ機構付きオートマチックトランスミッションを

採用して、移動時の最高速度 49 km/h を実現している。フロント側にはダイナミックダンパを、リア側にはサスペンションとショックアブソーバを標準装備して、高速走行安定性と快適な乗心地を確保している。凍結の心配のない全油圧ディスクブレーキを装備し、テレスコピックチルトステアリングハンドルやフルオートエアコンの採用で安全性, 操作性, 居住性に配慮している。ラジエタの冷却ファンは大形で低速回転とし、油圧モータ駆動として回転制御を容易にして騒音低減と省エネルギー化を図っている。国土交通省の低騒音型建設機械に指定されている。

表-11 65 DVの主な仕様

運転質量	(t)	12.8
定格出力	(kW(PS)/min <sup>-1</sup> )	135(185)/2,400
ブ라우全幅×同高さ	(m)	3.505×1.365
ブ라우アングル角 前/後	(度)	39/32
最高走行速度 $F_1/R_3$	(km/h)	49.5/24.0
最大けん引力	(kN)	101.5
登坂能力	(度)	30
最小回転半径(最外輪中心)	(m)	4.95
軸距×輪距(前後輪とも)	(m)	2.90×1.93
最低地上高	(m)	0.385
タイヤサイズ	(—)	17.5 R 25
全長×全幅×全高	(m)	7.69×3.505×3.44
価格	(百万円)	22.1

- (注) 可変型ブ라우装着仕様を示す。



写真-11 川崎重工業「AUTHENT」65 DV 除雪ドーザ